

4. 夜景も素敵です

車道照明は黄身がかった照明、歩道照明は水銀灯を使い白緑色、足元灯はLEDとリズム感のある3つの照明で構成されています。イルミネーションの季節も良いですが、日常の照明も十分素敵なんです。



足元灯の中の模様がイチョウになっています♪

5. ペリー来航の絵画にも登場「たまくす」

横浜開港資料館が建っている場所は、1854年に日米和親条約が締結された場所。中庭にある「たまくすの木」は条約締結の時からあったと伝えられています。横浜開港の歴史がここから始まったんだ、と感ずることができます。



10

6. キングの塔と三塔ポイント

神奈川県庁通称キングの塔は横浜を代表する近代建築の一つ。建物の上に塔がそびえる独特な外観が特徴です。日本大通りには3塔を一目で見渡せる「三塔ポイント」もあります。

10. 象の鼻パークでゆったり

横浜港発祥の地「象の鼻パーク」には、アートを兼ね備えたレストハウス(休憩所)「象の鼻テラス」があり、食べ物の持ち込みOK!テイクアウトカフェもありソフトクリームなども販売。歴史的な場所でありながら、芝生でのピクニックや文化やアートの体験もできる日常の場として溶け込んでいます。



A. 旧横浜商工奨励館

(横浜情報文化センター・日本新聞博物館)

B. 旧横浜市外電話局

(横浜都市発展記念館・横浜ユーラシア文化館)

C. 元関東財務局 (THE BAYS)



歴史的建造物を保存しながら、一般市民が利用できる施設として活用されています。気軽に訪ねてみてください



7. 実は緩やかな坂

元町から本町通がある部分が、もともと横に長く延びる陸地(横浜の語源)でした。本町通りを挟んで横浜公園側も海側も埋め立てでできた土地です。本町通りから見ると、両側が緩やかに下り坂になっているのが分かります。町の成り立ちは、通りの地形を観察するとみえてきますよ。

8. 人に優しく段差少ない

車道と歩道の段差をほぼ無くしてあるため、とても歩きやすいです。また、イチョウを守る柵はちょうど座りやすい形、高さになっています。日本の道路は本来ベンチなどは置けない決まりなのですが、座れるデザインの柵のおかげでちょっと休憩もできちゃいます。



9. 賑わいのある空間・オープンカフェ

パレードやお祭りなど、通り全体でイベントが開催されるのも日本大通りの特徴の一つ。また、日常的にも沿道のお店がオープンカフェを出せるような仕組みを作っています。日本の法律では道路を通行すること以外に使用するのとはとても難しいので、実はとても珍しいことなのですよ。テイクアウトできるお店もあるのは子ども連れには助かりますよね!



D. Koshu33

(神奈川県住宅供給公社)

おむつ替えができるトイレやコミュニティスペースには授乳できるテントもあります。外観は歴史的建物の高さで塗り分けられ歴史的な通りに馴染むデザインになっています。

情報提供:開港5都市景観まちづくり会議分科会5メンバー

11. 消防救急発祥の地にて

居留地消防隊の地下貯水槽の遺構があり覗くことができます。今も地下水の流入により常時貯水されています。



日本大通りの歴史的建造物に隠れた動物を探そう!

- ◎ユニコーン the bays入口扉上の装飾
- ◎鳳凰 旧横浜商工奨励館の貴賓室天井
- ◎ライオン 横浜開港資料館中庭の横浜水道の初代水栓



探してみよう!

◆開港5都市景観まちづくり会議

開港5都市とは横浜、神戸、長崎、函館、新潟のこと。毎年各都市持ち回りで情報・意見交換を行っています。

横浜大会 2019年11月1日~3日

テーマ「見つけよう、広げよう!開港都市の可能性」

セミナーや会議、テーマごとに分科会に分かれて町歩きツアーなどを行う。

日本大通りのまちあるきツアーは11月2日開催。



次号は、2020年1月15日発行予定です。
バックナンバーは、ホームページ!

ベイキッズ

検索

<http://baykids.jp>